

深代喫煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

深代喫煙具製作所を訪ねて

秋のこちよい寒さを感じる11月9日、群馬県にある深代喫煙具製作所を訪れました。

深代喫煙具製作所(以下深代)は昭和5年創業の3代にわたるパイプメーカーです。

戦前からのパイプメーカーとしては日本唯一のメーカーです。

ハンドメイドのツトムブランドやローランド等のブランドを製作しています。

この特徴はなんといっても続いてきた日本の職人魂がこもったこだわりのパイプ製作です。

木工技術としては、かつて日本のパイプブームが去った後、高級車のシフトノブ等の製作で殆ど全ての自動車メーカーに納品したという実績を持っています。

現在も年間何千本ものパイプをコンスタントに製作しています。

上越新幹線の上毛高原駅で下車、車で10分ほどの所にあります。

到着後、ちょうどツトムパイプの品定めをして、昼食後いよいよ見学です。

PHOTO



自然に囲まれた工場



深代喫煙具製作所



ブライヤーの原木



シェイプサンプルの陳列



シェイプサンプル



いろいろなシェイプ



中にはおもしろいシェイプが



微妙に異なるシェイプが色々



展示してあったメシャムのブロック



結構明るい作業場です



こんな部屋が四つあります

深床喫煙具製造所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

原料倉庫

工場から50mほど離れたところにちょっとした木造の二階家がありました。
 1階には麻袋にはいったままのコロやプラトーがごろごろ、
 2階へ上がると、床半分に原料がところ狭しと広げられていました。
 一応乾燥したものが送られてくるのですが、さらに徹底するために乾燥させているとのこと。
 通常麻袋に6か7ダース入っているとの事です。
 原料もギリシャ産とかイタリア産とか区分してありました。
 ギリシャ産も掘り手がいないので入手が難しいとか。

PHOTO



原料倉庫です



原料倉庫一階



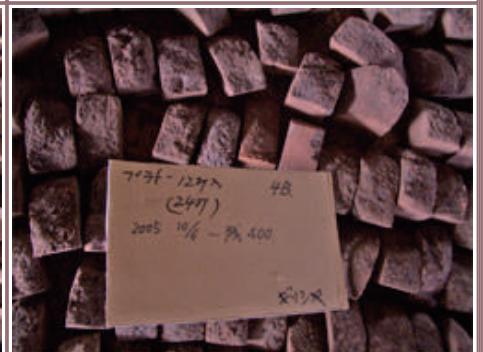
原料袋6ダース入



原料乾燥中



さすがにプラトー山積み



今年入荷したギリシャ産のようです

深床喫煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

削り出し

工場へもどってよいよパイプ製作の見学です。

まず、荒く形を切り出したゴロを旋盤にセットします。

旋盤には3つの刃が取り付けられており、ボウルの上部(トップ、チャンバー、ボウル外側の上半分)を一気に削りだしてしまいます。

あっという間で、自作パイプでこつこつやっていた苦労はなんなんだと言いたくなるような簡単さです。

次は下半分とステムの削り出しです。

これは木型(材料は木、プラスチック等でできています、削りだす大きさをちょっと大きめに作ってあるとの事です)を真ん中にセットし、両側に丈夫を削りだした材料をセットします。要するに木型をなぞりながら両側にセットした材料を一度に削りだすという作業。

先程に比べてスピードはゆっくりですが、あれよあれよというまに取敢えずボウルの削り出しは完成。

さすがにマシンメイドというだけあって作るのが早い。

PHOTO



三面同時切削のセッティング



両面同時切削中



三面同時切削



三面同時切削の刃



三面切削の成果



木型に合わせてセットしている



真ん中の木型に合わせて二本同時に削りだし	2本を一度で完成	木型の色々
		
昔の切削用木型が部屋の周りに一杯		

深喉嚨煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

煙道の穴あけ

太めでまずチャンバー近くまで開け、続いて細く長い長い特殊な錐でチャンバーへ貫通、
これは手作業で勘に頼った作業です。
開いた穴の場所を確認しながらもう少し太めの錐で最終の穴を貫通させます。

PHOTO



煙道を開ける



煙道を開ける2



チャンバーへ貫通させる作業、これは手作業



チャンバーへの穴あけ完了

深喉嚨煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

バリとり

100番程度のサンドペーパーを盛り上がった円盤状のものに取り付けこれでさっさと磨きだします。
つづいて400番までのペーパーをまきつけたもので磨き上げます。

PHOTO



バリとり



バリとり



サンドペーパーの工夫



ペーパーでバリを取ったところ

深炭燻煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

穴埋め

このあたりで、大きな傷や穴を埋めます。

PHOTO



傷は周囲も削ってから埋めます

深志嚙煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

磨き上げ

驚いたのは、磨き上げの最初の材料は泥です。
 ちょっと水を入れてどろどろにしたものをパフに塗りつけ磨きます。
 続いて赤、白と磨きを変えて磨きは完了。

PHOTO



最初の仕上げ



最初の仕上げ剤は水を入れてこねて泥にして



パフに泥を塗りつけています



赤で仕上げ2段目



白で仕上げ3段目



最終はカルナバックスで磨き上げ



サンドペーパーをベルト状にして使用



器械で磨けないところはこれにはさんで手で磨く

深喉嚨煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

色付け

塗りは別の部屋で太陽の明かりの下、淡々と塗っていきます。
乾燥させワックス(カルナバワックス)がけして終了。

PHOTO



色づけしています



塗装中



塗装後乾燥中



出来上がり

深炭燻煙臭慙此所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

サンド仕上げ

サンド仕上げにするのは別室で行います。

1m四方の鉄の箱のようなものの中へ両手を突っ込んで作業します。

片手にボウルを持って、片手には噴出口の管、見ていると簡単そうです。

かける時間で深さを調節したりします。

ボウルを持つ手はゴム手袋だけ、痛そうですが、なんと柔らかいものは削れないとのこと。直接手にあたってもすぐには怪我しないようです。

使用する砂はいろいろ探して、非常に目の細かい砂を使用されています。

PHOTO



サンド仕上げをしている箱の中の様子



サンドかける箱



サンド仕上げ用の砂

深炭燻煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

その他

鍛冶場があります、ここは職人さんが自分で使用する鋸や刃物を作るところです。
微妙な細かい作業もありますので、それにあわせて刃物は殆ど手作りだそうです。
鉄の丸やすりがあります、ちょっと間違えば大怪我してしまいそうな代物です。
これを使いこなせれば簡単にハンドメイドのシェイブも削りだせそうです。

PHOTO



恐怖の鉄丸やすり



道具を作る鍛冶場

深代 喫煙具製作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

マウスピース

深代は使い心地等で現在も材質はエポナイトにこだわっています。
煙道あけは最初は中心に1mm以下の小さいガイド穴を通し、
ダボを削り出し、煙道はサイズを変えて3段階で開けます。
口の部分は自家製の特殊な刃物で真っ直ぐに空け、
更に、スムーズになるように手作業で特殊な細い刃物で削っていきます。
このあたりも、イバルソンに師事した深代さんのこだわりです。
おいしい、美しい、使いやすいパイプがこうして出来上がります。

PHOTO



エポナイトの削りだし



カンバーランドの削りだし

深代喫煙具惣作所を訪ねて

第1章 原料倉庫	第7章 色付け
第2章 削り出し	第8章 サンド仕上げ
第3章 煙道の穴あけ	第9章 その他
第4章 バリとり	第10章 マウスピース
第5章 穴埋め	第11章 ハンドメイドとマシンメイド
第6章 磨き上げ	

ハンドメイドとマシンメイド

ハンドメイドはプラトー材を使い木目を見ながら削り出し、
ある程度シェイプが決まってからチャンバーを削り出します。
殆ど削り出せば後はマシンメイドもハンドメイドも同じ作業です。

量産するかそうでないかの違いですが、
深代のハンドメイドは結構プラトー材のサイズと木目が同じようなら
殆ど同じものを作ってしまう。職人の技といえるでしょうか。
あとは傷の在る無しで価格が変わってくるのはお決まりです。

深代の小さなハンドメイドも結構大きいプラトーから作り出していますので、値段もそれなりですが、材料費も手間も同じということなんです。
よく、傷の多いものをサンドにしてごまかすと言われますが、
深代の場合は穴埋めが多いとサンドにはせず最安価格帯になり、
サンドはそれなりのパイプをえらんでサンド加工するのでサンド物は最低価格帯ものはありません。

☆終わりに☆

色々現場をみせていただき、特に3代目の深代部長には全て機械を動かして、
実作業を見せていただきました。
目からうるこの場面も多く、思い込みでの勘違いも修正できました。
やはり、トップから全ての方がパイプ職人で年がら年中パイプのことだけ考えて仕事をしてるだけのことはあります、感心するばかりでした。
今回はラビエールの石黒さんに同行しての見学でした。石黒さんに感謝です。
そして深代喫煙具製作所の皆さんに感謝です。

PHOTO



ハンドメイドが出来るまで



量産のマシンメイドが出来るまで